



中山泰秀 Yasuhide NAKAYAMA やっちゃん ✓
@iloveyatchan

...

あなたならどうしますか？ある日突然24時間で300発以上のロケット弾がテロリストによって撃ち込まれ、愛する家族の命や、家を奪われたら。イスラエルにはテロリストから自国を守る権利があります。最初にロケット弾を一般市民に向け撃ったのは一体誰だったのか？私達の心はイスラエルと共にあります。

Israel Defense Forces ✓ @IDF · 5月11日

WATCH: Operational update with LTC Jonathan Conricus at a house hit by a rocket in the city of Ashkelon earlier today. twitter.com/i/broadcasts/1...

午前1:51 · 2021年5月12日 · Twitter for iPhone

1,147 件のリツイート 2,641 件の引用ツイート 2,370 件のいいね

Conricus at a house hit by a rocket in the city of Ashkelon earlier today.

[ツイートを翻訳](#)



Israel Defense Forces ✓ @IDF
LIVE with LTC Jonathan Conricus

午後6:50 · 2021年5月11日 · Twitter Media Studio

760 件のリツイート 61 件の引用ツイート 2,548 件のいいね



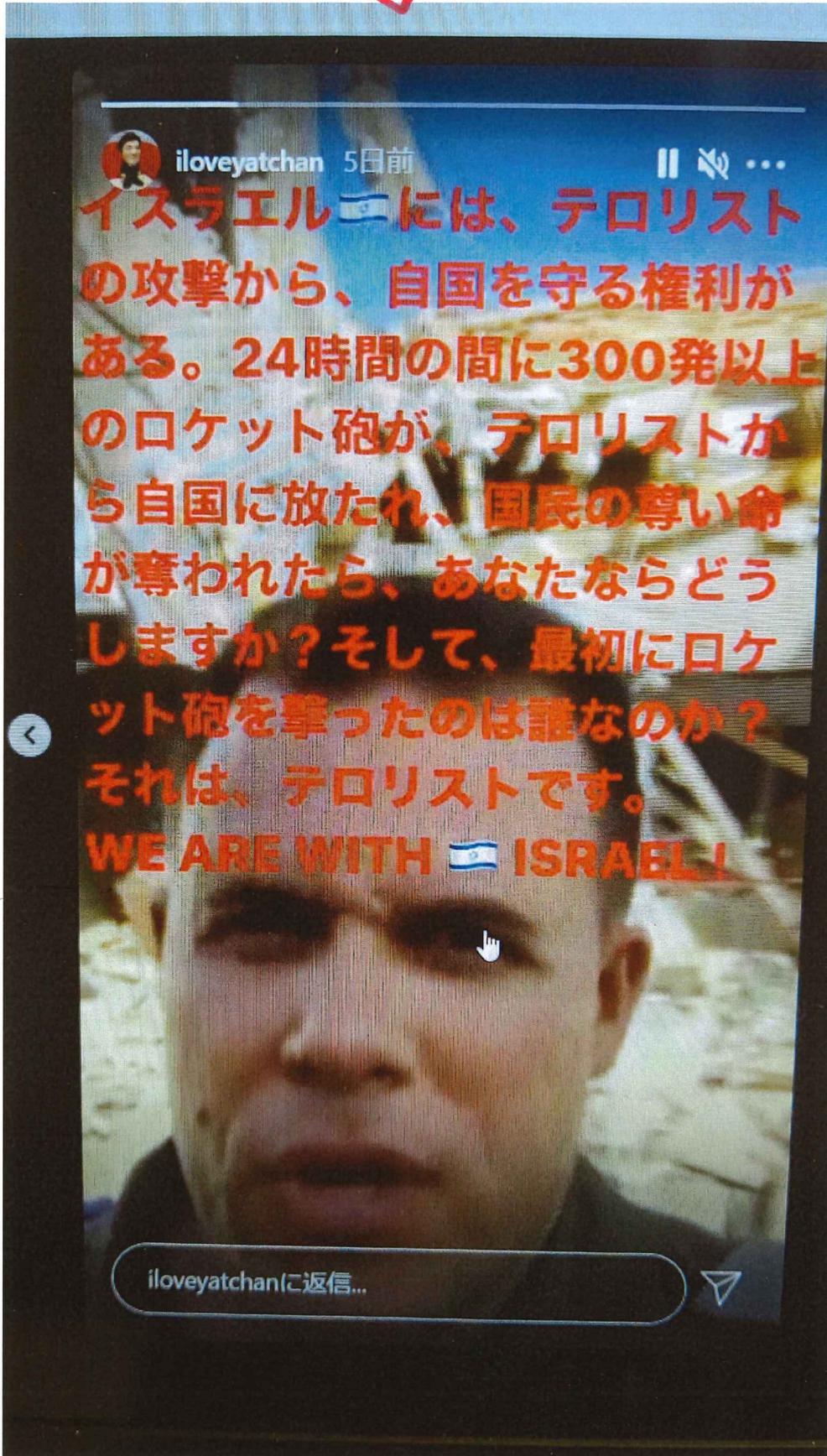
中山泰秀 Yasuhide NAKAYAMA やっちゃん @iloveyat... · 5月12日 ...

[instagram.com/s/aGlnaGxpZ2h0...](https://www.instagram.com/s/aGlnaGxpZ2h0...)

1

5

25







外務省

Ministry of Foreign Affairs of Japan

[本文へ](#) | [御意見・御感想](#) | [サイトマップ](#) | [リンク集](#)

ENHANCED BY Google

[外務省について](#)[会見・発表・広報](#)[外交政策](#)[国・地域](#)[海外渡航・滞在](#)[トップページ](#) > [会見・発表・広報](#) > [談話](#) > [外務報道官談話](#) > [最近のイスラエル・パレスチナ情勢について（外務報道官談話）](#)

外務報道官談話

最近のイスラエル・パレスチナ情勢について（外務報道官談話）

令和3年5月11日

[英語版 \(English\)](#)[ツイート](#)[シェア 140](#)[メール](#)

- 我が国は、多くの負傷者が発生している東エルサレムにおける衝突と暴力、ガザ地区からのロケット弾発射といったイスラエル・パレスチナをめぐる最近の情勢に対し深刻な憂慮を表明します。
- ガザ地区からのロケット弾発射や東エルサレムにおける衝突を含め、暴力行為はいかなる理由によっても正当化できるものではありません。現下の事態は、イスラエルと将来独立したパレスチナ国家が平和裡に共存する「二国家解決」の実現を求める国際社会の努力に逆行するものと言わざるを得ず、これらの暴力行為を強く非難します。日本政府は、すべての関係者に対し、一方的行為を最大限自制し、事態の更なるエスカレートを回避し、平穏を取り戻すよう強く求めます。
- この関連で、シェイク・ジャッラー八地区を含む東エルサレムのパレスチナ住民に対する強制立ち退き命令の可能性は、事態を更に悪化させかねないものと指摘せねばなりません。また、イスラエル政府当局による東エルサレムにおける540棟の入植地住宅建設計画は、我が国が国際法違反として幾度となく撤回を求めてきたイスラエル政府による入植活動の継続にほかならず、まったく容認できません。イスラエル政府に対し、その決定の撤回及び入植活動の完全凍結を改めて求めます。

関連リンク

- [▶ イスラエル国](#)
- [▶ パレスチナ](#)

A. 中山泰秀

私あの、衆議院に当選したのが2003年でありました。2003年に初当選して以来、イスラエル、日本の友好議員連盟活動もやってまいりました。そして同時に、イスラエルとパレスチナ、この両2カ国からですね、5名5名ずつ招聘をいたしまして、イスラエルとパレスチナの和平に協力するという意味で、将来の中東を支える若い人達を日本で研修をしていただくという事業。

これをですね、政府のみならず、自分の自費も使ってずっとこの日本での1週間の研修をお付き合いをさせていただいて、かれこれもう落選している3年間を除けば毎年、実はやってきています。

その中で、公安調査庁のテロリズム要覧をご覧いただくとわかりやすいと思いますが、「ハマス」というテロリストグループがあります。これは、米国もテロ指定をしている団体。

今回ですね、ハマスがイスラエルの市民に向けてロケット弾を24時間で300発以上撃って、シビリアンの方々を攻撃をしていると。

私のツイッターに反応している中には、「パレスチナはテロリストじゃないぞ」という批判も入っております。

私は、パレスチナの方々がテロリストだと書いたことは1回もありません。



私が申し上げたいのは、そういう混同をするようなことをやめていただきたいと。

日本の公安調査庁やアメリカが指定をしているテロリストであるハマス、このハマスがミサイルを撃っているわけです。

私がツイッターに書き込んだ書き込みは、こういったテロリスト・テロリズムをなくしてほしいと。

イスラエルという国は、そして日本であっても「テロから自国民を守る権利」これはあるのではないかと。

これをしっかりと訴えたいと思ったまでであります。

パレスチナの方々の一般の市民、この人達はテロリストに盾に使われていると。

なぜ世界中の報道機関がイスラエルに行って、ガザ地区でビルにミサイルがドン！と当たる瞬間を撮影することができるのか？

イスラエルは、テロリストのいるビルに対して、「今からここを、テロリストがいることを確認しているから、ここを砲撃する」ことを、IDFはですね、はっきりと予告をして、そこに向かってピンポイントで爆撃をしている。

そこにテロリストがいる、テロリストの弾薬が確保されている。

そこへですね、一般の人を人の盾で巻き添えにしているのは、他ならぬハマスなんじゃないでしょうか？

こういった状況を見ると、私は、「テロから自分たちの自国民を守る権利」というのは、どの国にもあるだろうという風に思っておりますので、そういった意味では私は、早く一般のパレスチナの方も、このテロリストの活動のせいですね、パレスチナの方々が同一視されていることを、私は非常に懸念を持ってみていらっしゃる方もおられると思いますので、そういった所にきちっと日本国民の理解を得たい、そういう風に思って正しい理解をしてもらいたいと。



アメリカや日本の公安調査庁のテロリズム要覧に載っているような、そういった活動をしている方々が、今回ロケット弾を発射していることに対して、本当に残念な思いであります。そして、しっかりとですね、この中東の和平というものが実現できるようにしていきたいと、そういうふうに政務官の時も副大臣の時も、外務省で当時からそのように思っていたと。

Q. 毎日新聞 島山記者

一個人のお考えとしてでよろしいですか。

小西 洋之

差出人: [redacted]@i.moj.go.jp
送信日時: 2021年5月17日月曜日 [redacted]
宛先: 小西 洋之
件名: (再送)【公安庁】「ハマス」に関する御回答について

小西洋之議員事務所 御中

平素からお世話になっております。

公安調査庁の[redacted]と申します。

夜分遅くに大変失礼いたします。

本日、先生よりいただきました「ハマス」についてのお問い合わせについて、以下のとおり回答させていただきます。

○ 公安調査庁は、「ハマス」をテロ組織に認定・指定しているのか。

→ 公安調査庁は、破壊活動防止法及び無差別大量殺人行為を行った団体の規制に関する法律に基づく調査、処分の請求及び規制措置を行い、もって、公共の安全の確保を図ることを業務としているところ、テロ組織を認定・指定するという事務は、当庁の業務に属さず、係る事務は行っておりません。

○ 「国際テロリズム要覧2020」は、公安調査庁のテロ組織に関する独自の評価を示したもののか。

→ 「国際テロリズム要覧」は、最近の国際テロ情勢、テロの脅威等について内外の各種報道、学術機関が公表する報告書等の公開情報を整理し、とりまとめたもので、公安調査庁の独自の評価を加えたものではありません。

以上です。御確認のほど、よろしくお願い申し上げます。

公安調査庁 調査第二部

[redacted]
TEL: [redacted]

Email: [redacted]@i.moj.go.jp

○中山副大臣 四月二十七日、菅総理からの御指示を受けまして、防衛省・自衛隊におきましては、東京都及び大阪府に設置する大規模接種センターの運営に向けまして必要な準備を速やかに進めているところであります。

国として新型コロナウイルスワクチンの国民の皆様への接種を速やかに進めるために、自衛隊はワクチン接種に専念をさせていただき、ワクチン接種を支える受付、案内、予約、また接種記録の管理などの周辺業務につきましてはできるだけ民間間役務を活用することが効率的である、かように考えてございます。

センターの運営に当たりましては、防衛省・自衛隊の能力を可能な限り活用させていただくとともに、民間に委託することができる業務につきましては民間の力を積極的に活用をさせていただいて、より早期にワクチンの接種が行えるように取り組んでまいりたい、そのような形で準備を進めさせていただいてもらっています。

○大西（健）委員 先ほど与党の委員からもあったように、防衛費を使ってやるんですね。防衛費を使ってやるのに、結局、このロジのところはいえ旅行会社に委託して、その旅行会社はまた再委託しているわけですよ。結局、そこで中抜きしているわけですよ。防衛費がそんなふうな使われ方をして、副大臣、いいと思いますか。

○中山副大臣 国民の皆様方には様々な御意見があると思います。また、私どもの方も、今大西先生から賜ったような御指摘を踏まえまして、しっかりと国民の皆様方に御理解をいただけるように

丁寧な説明を尽くしていきたい、かように思っています。

○大西（健）委員 中山副大臣にせっかく来ていただいているので併せてちよつとお聞きしたいと思うんですが、副大臣がツイッターで、イスラエルとパレスチナの衝突が今非常に激化している、これについて、私たちの心はイスラエルとともにありますという投稿をされました。

これについては、日本政府は、この暴力の応酬をやめるべきだ、これはそれぞれに自制を求めている中立的な立場を取っている、これが日本政府の立場だと思えますが、このことについて指摘を副大臣が受けられて、これは個人の見解だからということ、今もまだこれは削除されていないと思えますが、私は、個人の見解を言われるのは結構ですけれども、今、さっきの大規模接種の話も含めて非常に政府の重要な職責を担っておられる方が幾ら個人の見解だからといって出すと、これは非常に誤解を招くと思うので、どうしても個人の見解を言われたらと思うのであれば、職を辞してそれを言われたら結構ですし、やはり、今の職責をしっかりと全うしていただくためには、個人の見解は見解としてお持ちになるのは結構ですけれども、一旦これは削除されるのがよろしいんじゃないかと思えますが、いかがでしょうか。

○中山副大臣 御指摘いただきましてありがとうございます。御指摘のツイッターといいますのは、これはあくまでも一政治家としての見解を申し述べさせて

テロリズム要覧というのがございます、この要覧におきましては、国際テロ組織に挙げられておりますのが、我が国がテロリスト等に対する資産凍結等の措置の対象としているハマスであります。このハマスがエルサレムを攻撃したとの声明を発出したことを踏まえまして、こうしたテロ行為というのはいくつまで行かないという趣旨で私は発信をさせていただいた次第であります。

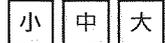
いずれにしても、私は、暴力行為はいかなる理由によっても正当化できない、かように考えております。また、イスラエル、パレスチナ両当事者の抱える問題は暴力によって解決されるものでは決してなく、全ての関係者が最大限の自制をもって事態の更なるエスカレート回避すべきだ、かように考えてございます。

この点、政府の見解と私の立場は同じくしている、同様であるということをおし上げておきたい、かように思っています。テロに屈するわけにはまいらないというふうに思っています。

○大西（健）委員 先ほど、ツイッターは個人のものだからという話でありましたけれども、例えばトランプ前大統領なんかツイッターでばんばんばん発言していることが世界を動かしているわけですから、それはやはり、副大臣がみんなが見れるようなそういうSNSで発言されたことというのはどのように受け取られるかということ、はしっかりとお考えになつて、私、行動すべきだと思います。

時間がありませんのでちよつとここまでにして、最後、在外邦人の対応について、鷲尾副大臣に

時事ドットコムニュース > 国際 > 中山氏発言「差別的」と反論 駐日パレスチナ大使が会見



中山氏発言「差別的」と反論 駐日パレスチナ大使が会見

2021年05月14日16時47分



中山泰秀 防衛副大臣

中山泰秀防衛副大臣がイスラエルとパレスチナの衝突激化をめぐり「イスラエルにはテロリストから自国を守る権利がある」とツイッターに投稿したことについて、駐日パレスチナ代表部のシアム大使は14日午前、「差別的だ。日本の高官の発言だったから失望した」と非難した。東京都内の日本外国特派員協会で記者会見して明らかにした。

「心はイスラエルと共に」 中山防衛副大臣がツイート

シアム氏は日本政府に「衝突の激化と、パレスチナ市民殺害をやめるよう、イスラエル政府に圧力をかけ続けてほしい」と要請した。

会見に同席したヨルダンのアンナーブ駐日大使は、イスラエル警官隊がエルサレム旧市街のイスラム教聖地に突入したことなどをめぐり「エルサレムはレッドライン（越えてはならない一線）だ」とイスラエルに警告。ヨルダンにはイスラエルとパレスチナの和平交渉再開に向けて協力する準備があると語った。

国際

政治

ミャンマー政変

日韓関係

ウイグル問題

ガザ衝突

関連記事

「無差別攻撃」とハマス非難 イスラエル臨時大使
米、外交努力を加速 パレスチナ情勢沈静化へ
アフガン全面撤収に賛否 「条件なし」に反発も-米